

令和2年度
多面的機能支払交付金
活動組織研修会

水路補修に係る制度のポイント

- ・補修・更新の流れ
- ・計画策定・見直し
- ・機能診断
- ・実施

兵庫県 農地整備課

高めよう 地域協働の力！



1 補修・更新の流れ

1年目
初め

I 計画の策定



計画の見直し

II 機能診断



III 実施



- ・将来も踏まえて検討
- ・地域で合意形成
対象施設、順序
- ・必要に応じて
計画変更や届出
- ・劣化状況を把握
実施の根拠
- ・契約～工事～完成確認
事業主体として責任
- ・完成後の財産管理

地域で話し合い
構成員の了解得ら
れているか

記録を残して
見える化

外注でも丸投げ×
管理が大事

1年目～
毎年の活動

I 計画策定



1 その補修更新は多面的で行うのがよいか？

- ☑ 大規模な補修更新は、抜本的な整備ができる他事業が望ましい場合も
- ☑ 10年程度先を見越して、今整備するものが無駄にならないか



2 地域での合意形成はできているか？

- ☑ 箇所、整備内容、整備の順番
- ☑ 役員だけでなく構成員に周知できているか



計画の見直し

変更と届出の違い

変更（市町の認定が必要）

- ・対象農用地面積の変更
- ・**対象施設の変更**
- ・対象組織の変更
- ・活動の追加、中止又は廃止
- ・活動期間の延長

届出（市町に提出するだけ）

- ・役員の交代、構成員の変更
- ・遊休農地を一部解消
- ・**対象施設の延長又は路線の増減**

- ・機能診断の結果
- ・初年度計画後の変更等に応じて計画を見直し

工種自体の増減

現行 水路+農道

変更 水路+農道+**ため池**

1 延長が変わる場合

現行 水路500m⇒変更 水路**700m**

2 路線の増減

現行A路線、B路線⇒ 変更**A路線のみ**

Ⅱ 機能診断

- ☑ 工事を行う前に機能診断が必須！
- ☑ 通水期に問題箇所を予め把握し、水のない秋～春に行うと効果的
- ☑ ゲートやポンプ等は外注も検討
- ☑ 結果を計画策定に活かそう

コンクリート水路



全般・目地

☑ 不同沈下はないか？



☑ 目地の劣化やゆるみはないか？



側壁



☑ 側壁の破損やはらみはないか？



☑ 側壁背面の空洞はないか？
※打音診断で



☑ 藻類や雑草の繁殖はないか？

法面など



☑ 法面の侵食や漏水はないか？



☑ 安全柵・手すりの破損はないか？



☑ 蓋の破損や劣化はないか？

土水路

☑ 侵食や崩壊はないか？



ゲート類



☑ 金属のサビや腐食はないか？



☑ ハンドルの操作異常はないか？



☑ ゴムパッキンの劣化による漏水はないか？

Ⅱ 機能診断

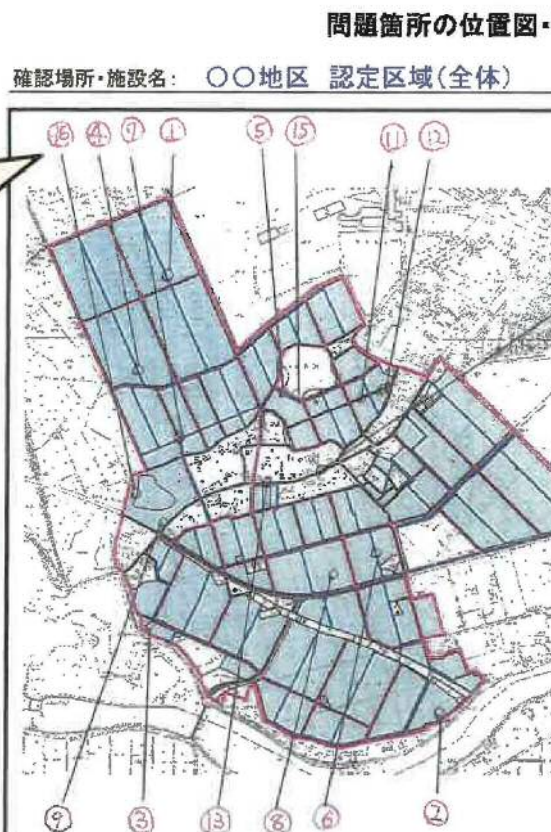
- ☑ 結果を記録に残そう
- ☑ 図面とセットで分かるように

※作成は任意で、組織で保管

記載例

記載例

チェックリストに記した問題箇所を位置図で特定し、問題場所の通し番号を記載します



機能診断チェックリスト(農用地) No. _____

活動組織名: ○○地区保全会
(確認担当者: 兵庫 太郎)

確認日: 2015年 4月 1日
位置・名称: ○○地区内 全農地

施設・箇所と問題状況	診断結果		備考(詳細)
	問題なし○	問題あり× 経過観察△	
建物の状況	崩れ	×	①○○地区内・×× 長さ50cmほどにわたり陥没あり
	低下	○	
	漏水	○	
	その他	○	
法面の状況	侵食	×	②○○地区内・△△ 幅30cm四角ほどの侵食あり
	水みちあり	×	③○○地区内・○○ 幅20cm×長さ2mほどの水みちあり
	その他	○	

問題状況のある場所を記入し、場所ごとに番号(①、②、③…など)をふります

Ⅱ 機能診断

※作成は任意で組織で保管

☑ 結果の整理

診断結果と実施が比較できると望ましい

点検や機能診断を行って問題箇所とされた施設の状況を、すべて記入します

点検・機能診断 実績表

活動組織名： ○○地区保全会

点検・機能診断					実践活動	
施設区分	実施日 (年月日)	診断場所	診断結果	診断 担当者	実施日 (年月日)	作業内容
農用地	2015年 4月3日	○○地内 ××①	畦畔に長さ50cmほど 陥没あり	兵庫太郎	2015年 4月25日	くぼみ部分の畦畔を新設
農用地	2015年 4月3日	○○地内 △△②	法面に幅20cm×長 さ2mほどの水道あり	兵庫太郎	2015年 4月25日	水道のくぼ 盛って踏 植栽
農用地	2015年 4月3日	○○地内 ○○③	法面に幅40cm四方ほ どの侵食があり	兵庫太郎	2015年 4月25日	侵食部分 み固め、
		○○地内				

それぞれの問題箇所について、実践活動の中でどのような対応(補修、更新など)を行ってきたのかを、実施日とともに記入します

Ⅲ 実施

1 外注でも全て丸投げは×

事業主体として責任

- ☑ 契約関係 契約・支払
- ☑ 完成確認 目的物や書類
- ☑ 工事中 変更等確認

2 財産の管理を行おう

- ☑ 財産管理台帳で耐用年数
期間中は施設を適切に管理
- ☑ 譲渡する場合には図面等必要な書類を渡す

完成検査立会



財産処分制限期間

施設	構造	耐用年数
水路・ため池	コンクリート造 (現場打、二次製品)	17年
	鋼管	15年
	合成樹脂管	10年
	遮水シート	8年
設備	ゲート・バルブ 金属製	14年
農道	コンクリート舗装	15年
	砂利舗装	
	アスファルト舗装	10年
柵	金属製	14年
シート	防草シート	5年
機械	草刈り機・モア・ポンプ・ チェーンソー等	7年